

卒 論 一 覧

江藤賢史研究室

アルフォンス・ミュシャ～宗教画としての『スラヴ叙事詩』～	浦口佳己
川端龍子について	大倉悦生
マグリットと「顔」	尾上久美子
別府八幡竈門神社に見られる神楽と神楽面	後藤理恵
岡田三郎助について	椎木寛
歌舞伎とその造形美について	志手美奈子
コスモの機能とデザインについて	末廣拓也
中世ヨーロッパの食卓の美	高橋絢子
日本画家鏑木清方	谷口吉法
東山魁夷	草津恒造
色彩における若干の考察	山根史子
福田平八郎	谷松安隆
ファッションについての自分なりの考察	原史子
スノーボートの色彩	藤木健史
グスタフ・クリムトのベートーヴェン・フリーズについて	宮本環
藤島武二について	熊田貴志
脚本家・金城哲夫のシナリオにおける「精神」としての沖縄	知念識人
デューラーの生涯とメランコリア	阿部雄司
前田寛治について	加藤大輔
永遠の妖精～オードリー・ヘップバーンの魅力～	財満あき
ジョージ・ルーカスについて～ルーカス帝国への道～	時枝亜生

仲嶺真信研究室

涅槃図の研究～登場人物における配置～	大隈宏美
神道曼荼羅における春日の神の描かれ方	平川文紀子
土門拳の撮影理論	三浦嗣登

安松みゆき研究室

見るということ	大野陽子
ヴィンセント・ファン・ゴッホ (Vincent Van Gogh) の花～「向日葵」をめぐって～	迎美華
ゴーギャンの「象徴主義絵画」とタイトルの機能～《波間で (オンディーヌ)》のタイトルの変更をめぐって～	安武陽一郎